

◎3つの体験・サポートをして考えたこと

①高れい者体験では

私は、おじいちゃん、おばあちゃんが元気なので、つえなどをさわった事がなかったのですが、重りやヘッドホンを付けてみて、どうしてもしせいが前かがみになってしまって、歩くのが大変でした。特に階段は、足が上がりなくて、苦らうしました。高れい者はこんなにも苦らうしている事は初めて知りました。なので今度大変そうなお年よりの手助けをしたり、バスは席をせ、まゝくてきにゆずりたいとあらためて思いました。

②重い者体験・サポートでは

私は、まずせいのうにび、くりしました。かいたんにかけるられるブレーキ、ぼうをおすだけで上がる前輪などいろいろな「便利」があると感じました。そしてのってみたら、「乗りやすさ」「動かしやすさ」にまたび、くりしました。そしてサポートでは、板でブレーキを少しかけながら進むのがむずかしかったです。スピード

が出たら乗っているペアの人がびっくりしてしまうので、うまく言周せつするのに、苦せんしました。車いすに乗っている人の気持ちかなんとなく分かったような気がしました。

③視覚しょうがい者体験・サポートでは、アイマスクをしたら何も見えなくなって、白杖とサポートする人だけがたよりなので、とてもこわかったです。私は、だんさのあるところでよる見をしていたらよくころぶので、そこが心配でした。でもペアの人(サポートしてくれた人)が「あと1mちょっとで5cmのだんただよ」と教えしてくれたので、ぶじ乗り起えられたので安心しました。サポートでは、「あと1mでマンホール」などと、ときかくに指示を出せたと思います。

ゴール直前では、スタッフの方が「サポート上手だね」と言ってくれたのでうれしくなりました。

視覚しょうがい者は点字ブロックをたよりに進んでいるので、これからも点字ブロックの上に荷物などはおかないようにしたいです。